

## アイスランドのギャオ

薦田靖志

アイスランドは、北極圏の南、北大西洋上に位置する人口約25万人の小さな島国である。アイスランド＝火山のイメージが強く、現在でも活発な火山活動が続いている。

島は荒涼とした不毛の溶岩台地が果てしなく続き、内陸部は氷河で覆われていることから「氷と火の国」とも言われている。

アイスランド島は北米プレートとユーラシアプレートの拡大部（プレートの湧き出し口）である大西洋中央海嶺上により、南西―北東方向の割れ目が島の随所でみられる。この様な割れ目をアイスランド語で「ギャオ（Gja）」と呼んでいる。

ギャオは、いわゆる大地の裂け目で、小さなもので幅数m、大きなものは幅数km、延長数10kmにも達し、大地溝帯を形成している。

アイスランドは、全島が新第三紀～第四紀の玄武岩質火山岩類から構成される。

火山の特徴は、広域割れ目噴火と楕状火山である。溶岩台地は、植生不良の不毛地帯が大半で、1960年代の米国のアポロ計画時には、月面活動の訓練が行われている。

アイスランドでは冠頭にReyk（レイク）がつく地名が多い。「Reyk」は、蒸気、けむ

りを意味する言葉で、首都Reykjabikを直訳すると「湯けむりの湾」となる。

火山の恵みである地熱の利用（主として熱水による地域暖房）が積極的に行われている。一年中、暖房を必要とするため、地熱利用が可能なところに町ができ、人々の生活基盤が形成されている。

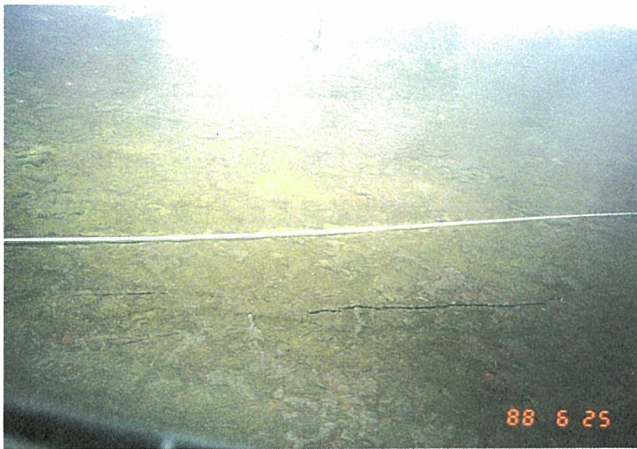
アイスランドで盛んなスポーツは何かと彼らに聞いたところ、水泳（温水プール）だと云うのには、少々驚いた。

壮大な大地の裂け目ギャオ、火山と侵食により形成された雄大な自然、アイスランドの地にたつと、環境破壊と云う言葉すら忘れてしまう（実際、水力、地熱エネルギーが豊富で化石燃料の消費が少ない）。

ホテルのシャワーは、硫黄臭の香りがするが、機会があれば、再び訪れたい国である。（住鉦コンサルタント株式会社）



首都レイキャビック近傍の幅数m  
の小さなギャオ  
形成時期は、古く、水が溜っている。



直線状の道路の下に見えるのが  
ギャオ



レイキャビックの東、約50km  
ピングバラ湖に注ぐ河川。  
上流にはラング氷河があり、豊富な水量である。  
アイスランドには、このような景勝地が無数にある。